

今回は、高校生溶接技術競技会について特集します。
溶接というのは、複数の金属に熱を加えて溶かし、接合する金属加工技術のことです。現在では、自動車・船舶・ビルや巨大な建造物などを造る際に用いられています。

熊本県高校生溶接技術競技会は今年度で4回目を迎え、本校からは昨年へ続き2回目の出場となります。優勝チームと個人の部の最優秀選手は11月に行われる九州大会に県代表として出場することが出来ます。なお、来年度からはものづくりコンテストの一つの種目として全国大会まで実施されることが決まっています。

本校からは、機械科3年の豊永雅尚・山本祥也・宮田馨斗、
機械科2年の山下将成・中竹菜摘・西充
の6名が出場しました。

【県大会日程】期日：令和元年（2019年）7月6日（土）
場所：熊本県産業技術センター

【特集】溶接技術競技会（機械科）

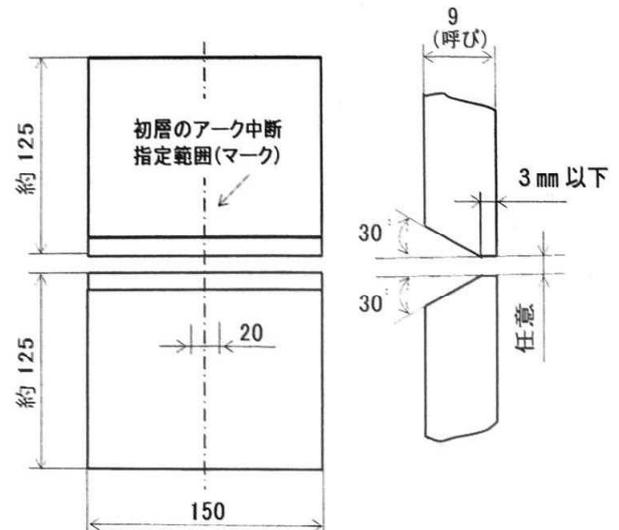
★製作時間：開先加工：15分 溶接作業：30分

★3項目における採点（減点方式）

【内訳】外観試験→表面：50点 裏面：50点
曲げ試験→表曲げ100点 裏曲げ：100点
違反行為・不安全作業→失格・減点

★競技のPoint！★

- ①2つの支給材料の端に熱を加え接合する！
- ②外観試験では、溶接部の厚さは表3mm以下、裏2mm以下、ビードの波の形状や幅が一定であること等が求められる！
- ③曲げ試験では、表曲げと裏曲げの2方向から行われ、割れの大きさによって減点される！



【機械科代表生徒：3MB 宮田 馨斗 君】

これまで溶接大会に向け大会に出るメンバーで日頃の練習を頑張りました。初めはアークが飛ばなかったり鉄板に穴が開くなど失敗ばかりでした。しかし、他の学校の出場選手の溶接の仕方や出来を見て今の自分には何が足りてないのかを考え、溶接棒の角度や鉄板との距離を地道に変えていくことで出来がよくなりました。溶接大会本番では練習の成果を発揮し、今までで一番よい作品を作ることが出来ました。

今回の溶接大会の練習で得た技術や経験は無くなることはないので多くの場所で活かしていけたらと思います。